

分類	ご意見	反映状況
<p>外出自粛等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出自粛や県外との往来自粛を要請すべきだ。 など（434件） ・イベント自粛を要請すべきだ。 など（33件） ・マスクの着用など感染防止対策を徹底すべきだ。 ・不織布マスクの着用を徹底すべきだ。 など（95件） ・一部業種について営業自粛を要請すべきだ。 【R2.7月,11~12月】 【R3.1,8月】 など（188件） ・大型連休（お盆休み・年末年始など）に他県からの往来がないよう対策をとるべきだ。 【R2.4月】【R3.4月】【R2.8月】 【R2.11月】 など（161件） ・他県からの往来は観光客だけではない。強硬な対策はとるべきでない。 【R2.4月】 など（33件） ・緊急事態宣言を発令すべきだ。 ・蔓延防止等重点措置を実施すべきだ。 【R2.8~12月】【R3.1~2月】 【R3.5,8,10月】【R4.2月】 など（117件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式の実践、高齢者が利用する福祉施設の感染防止策の徹底、接待を伴う飲食店（キャバクラやホストクラブなど）への出入り自粛のお願いなどについて、テレビ、ラジオ、新聞、HPなどを通じて必要なメッセージを発信しました。 ・一部業種について営業自粛の要請を行いました。 ・岡山桃太郎空港やJR岡山駅等において、外出自粛や3密を避ける注意喚起などの啓発を行いました。 ・県民の皆さまへ接触確認アプリ（COCOA）の登録をお願いしています。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【接触確認アプリ（COCOA）】 本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、互いに分からないようプライバシーを確保して、陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受け取ることができるアプリ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・医療現場で看護師が不足していることから、現在就業されていない看護師の皆様へ、現場への復帰をお願いしました。【R3.5月】 ・飲食店の感染防止対策が見える化するセルフチェックシートを作成しました。【R3.6月】 ・県民が安心して利用できる外食環境の整備に取り組むため、県内の飲食店又は喫茶店における感染防止対策について、現地調査を行った上で、一定の基準に適合する店舗を認証する飲食店感染防止対策第三者認証事業を実施してい

<p>・緊急事態宣言を解除すべきでない。 【R2.5月】【R3,6,9月】 など（75件）</p> <p>・緊急事態宣言を解除すべきだ。 【R2.5月】【R3,6月】 など（10件）</p> <p>・飲食店への時短要請の対象地域を拡大すべきだ。 【R3.5,8,10月】 など（17件）</p> <p>・時短要請の対象業種を拡大すべきだ。短縮時間を強化すべきだ。 【R3.8,10月】 など（15件）</p> <p>・一部業種への立ち入り検査を実施すべきだ。 【R2.7月】【R3.4~6月】 【R4.2月】 など（15件）</p> <p>・施設における感染防止対策を徹底すべきだ。 【R2.8月】 など（2件）</p> <p>・自宅療養者の感染防止対策を徹底すべきだ。 【R3.1月】 など（8件）</p> <p>・感染防止対策へ罰金を導入すべきだ。 【R3.1月】 など（5件）</p> <p>・配慮が必要な人もいる。マスクの着用を強要するような、行き過ぎた感染防止対策をやめるべきだ。</p>	<p>ます。【R3.8月~】</p> <p>・飲食店等に対し感染防止対策の徹底や時短要請への協力を呼び掛けるため、職員が見回りを実施しています。</p> <p>・オミクロン株の急速な感染拡大が全国的に進む中、本県においても病床使用率は未だ低いものの、新規陽性者数が急速に増加していることから、令和4年1月13日から「オミクロン株特別警戒期間」として、会食は4人以下2時間以内など新たに定めた「4つの岡山ルール」、「マスクコード」等の実践について、高い緊張感を持った基本的な感染防止対策の徹底を要請しました。【R4.1月】</p> <p>・令和4年1月27日から県内に「まん延防止等重点措置」が適用されたことを受け、第三者認証事業の認証店か否かに区分した、飲食店等への営業時間の短縮や酒類提供停止等の要請、集客施設等への感染防止対策の徹底要請、イベント開催制限に関する要請など、感染拡大を封じ込めるための強力な措置を講じました。【R4.1-3月】</p>
---	--

	<p>【R2.10~12月】【R3.1~6月】など (9件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業のテレワークを推進すべきだ。 など(3件) ・公共の場(公園、公共交通機関など)での飲酒を禁止すべきだ。 など(2件) ・飲食店利用者のモラル向上を促す取組をすべきだ。【R3.10月】 など(1件) 	
イベント	<p>聖火リレーは中止すべきだ。 【R3.5月】 など(20件)</p>	<p>公道でのリレーは実施しないこととし、感染対策を徹底した上で、ランナーによるトーチの受け渡しと、無観客での点火セレモニーを実施しました。</p>
検査・医療体制等について	<p>病床数、PCR検査体制等を拡充すべきだ。 など(118件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査は医師が必要と判断した者のみに限定すべきだ。 など(3件) ・PCR検査の対象を拡大すべきだ。 など(14件) ・コロナ専用病棟、野戦病院、酸素ステーションなどを整備すべきだ。 など(8件) ・宿泊療養施設は県北にも開設すべきだ。 など(1件) ・帰省者へ無料のPCR検査を実施すべきだ。 など(1件) ・PCR無料検査を継続すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査、医療体制の拡充を進めています。 確保病床数 554床 (2月1日時点) 宿泊療養施設 629室 (2月1日時点) 人工呼吸器 県内保有数 746台 (2月1日時点) ECMO 県内保有数 36台 (2月1日時点) ・検査体制を強化するため、県内3カ所に屋外検体採取センターを開設しました。 ・医療機関や福祉施設においてクラスター等が発生した場合に、速やかに対策を講じられるよう、専門家チーム(医療・看護師等)を派遣する体制を構築しました。 ・発熱などの症状がある方が、身近な医

	<p>だ。</p> <p>など（15件）</p>	<p>療機関で相談、診療、検査を受けられるよう、発熱患者等「診療・検査医療機関」及び「受信・相談センター」の運用を開始しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設で感染者が集団発した際に、施設間で応援の職員を相互派遣する態勢を構築するため、県内の福祉施設関係4団体と覚書を締結しました。 ・新型コロナウイルス変異株への監視体制を強化するため、全ての感染経路について、変異株スクリーニング検査を実施しています。 ・新規感染者のさらなる増加に備えるため、新たな宿泊療養施設を倉敷に整備しました。現在開設中の岡山の2施設の運用も継続しています。【R3.8月】 ・新規感染者の急増に伴い、宿泊療養施設や自宅での療養者が夜間の急変し、救急搬送される事案の増加が懸念されることから、岡山県精神科医療センター内の一時療養待機所を再稼働させました。 【R3.8月】 ・増大する県保健所業務の負担軽減を図り、感染拡大防止のための積極的疫学調査に注力できるよう、自宅療養者の健康観察業務を民間に委託することとしました。【R3.8月】 ・重症化の抑制に効果があるとされている中和抗体薬について、短期間の入院中に投与し、その後は宿泊療養施設で療養していただく試行的な取組を進めることとしました。【R3.8月】 ・健康上の理由等によりワクチンを接種できない方が、ワクチン・検査パッケージを利用する場合などのPCR検査を無料で実施することとしました。 【R3.12月】 ・オミクロン株の急激な感染拡大によ
--	--------------------------	--

		<p>る検査数の急増に伴い、行政検査の円滑な実施に影響を及ぼしていること、また全国的に検査キット等が品薄となっていることから、感染拡大傾向時の一般検査事業については、当分の間休止することとしました。</p> <p style="text-align: right;">【R4.2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢など重症化リスク因子の有無により、症状の経過が大きく異なるオミクロン株の性状に鑑み、県保健所における疫学調査及び自宅療養者健康観察のさらなる重点化を進めました。【R4.2月】 ・オミクロン株の科学的知見に基づく国通知が発出され、濃厚接触者の待機期間が短縮されることとなりました。また、地域の社会機能を維持するため、例外的な取扱いとして、社会機能維持者については検査が陰性であった場合には、待機期間の終了前に待機を解除できることとしました。【R4.2月】 ・オミクロン株の感染急拡大により、外来診療がひっ迫していることから、患者自ら抗原定性検査キットで検査して医療機関を受診した場合や、濃厚接触者が有症状となり医療機関を受診した場合に、医師の判断により確定検査を省略できることとしました。【R4.2月】
<p>新型コロナウイルスワクチン接種について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種の従事者・会場を拡充すべきだ。 など（25件） ・接種の順番には優先順位をつけるべきだ。 など（8件） ・接種したくない人もいる。接種 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種に関する専門的相談に応じる県相談窓口を開設しました。 ・予約受付の利便性と、医療機関での予約管理業務の効率化を図るため、岡山県共通ワクチン予約システムを構築し、運用を開始しました。 ・ワクチン接種に向け、医療機関向け説

	<p>は希望者のみにすべきだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生への集団接種は実施すべきではない。 など（18件） ・一般接種を早期に開始すべきだ など（4件） ・若い世代への接種を促進させるべきだ。 など（8件） ・受験生などには優先的に接種させるべきだ。 など（1件） ・県内企業でのワクチン休暇の取得を促進すべきだ など（1件） ・ワクチン未接種者が差別されないよう対策を講じるべきだ。 【R3.10-12月】 など（20件） ・ワクチン未接種者への差別禁止の条例を制定すべきだ。 【R3.9-12月】 など（5件） ・ワクチンパスポートは差別を助長するので導入すべきではない。 【R3.10-12月】 など（3件） ・ワクチンパスポートの代わりになる、陰性証明書の発行に係る費用（PCR検査費用等）は無料にすべきだ。 【R3.10-12月】 など（3件） 	<p>明会、接種施設向け説明会、職域接種企業・大学向け説明会を順次開催しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営ワクチン集団接種会場を開設し、医療・介護従事者のほか県警職員や教職員・保育士等への接種を進めてきましたが、こうした職種への接種がほぼ完了し、企業や業界団体による職域接種、大学拠点の接種も順次進められていることから、不特定多数の方と接する機会が多い飲食業や理美容業、職員寮などで密な環境になりやすい外国人労働者を対象にワクチン接種を促進することとしました。【R3.8月】 ・10月15日から31日までを「ワクチン接種ラストスパート期間」と定め、若年層をメインターゲットにワクチン接種の促進を図りました。【R3.10月】 ・働く世代の接種をさらに促進するため、県医師会館で、夜間のワクチン接種を実施しています。【R3.10月】
<p>経済対策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GOTOキャンペーンは、感染が拡大しつつある今は、実施すべきではない。 【R2.7~9月】 など（19件） ・GOTOキャンペーンを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大地域への不要不急の旅行は、できるだけ控えること、県外との往来については、往来先の感染状況等を踏まえ、感染防止に向けた特段の注意をするよう県民へ呼びかけました。 ・県内の感染状況等を踏まえ、県民を

	<p>(再開) すべきだ。 【R2.8月,10月】【R3.2~3月】 など(8件)</p> <p>・GOTOキャンペーンを中止すべきだ。 【R2.10~12月】【R3.4,8月】 など(38件)</p> <p>・GOTOキャンペーンは地域ブロック別や、テイクアウトの利用も適用にするなど、工夫して実施すべきだ。 【R3.2~3月】 など(1件)</p> <p>・GOTOイート食事券の使用期限を延長すべきだ。 【R3.10,R4.1-2月】 など(12件)</p>	<p>対象とした宿泊割引「おかやま旅応援割」、「おかやまプレミアム付き交通券」、「GOTOイート食事券」の販売を停止しました。【R3.8月】</p> <p>・県内の感染状況等が改善したことを踏まえ、県民を対象とした宿泊割引「おかやま旅応援割」、「おかやまプレミアム付き交通券」、「GOTOイート食事券」の発売を10月1日から再開しました。【R3.10月】</p> <p>・県内の感染状況等を踏まえ、県民を対象とした宿泊割引「おかやま旅応援割」の販売を停止しました。【R4.1月】</p>
<p>経済支援について</p>	<p>・県独自の事業者支援を行うべきだ。 など(60件)</p> <p>・「飲食店等一時支援金事業」は、適用対象となる事業者を拡大すべきだ。【R3.3~4月】【R3.10月】 など(5件)</p> <p>・「岡山県時短要請協力金」は、適用対象となる事業者を拡大すべきだ。【R3.5~6月】 など(3件)</p>	<p>・国の一時支援金の給付対象にならず、長期にわたり厳しい経営状況が続く県内事業者を対象に、国の制度を補完する「飲食店等一時支援金」を創設しました。</p> <p>・経営革新計画を策定し、計画に基づくデジタル技術を活用した新たな取組を行う中小企業を対象に、「デジタル化推進(経営革新)事業補助金」を創設しました。</p> <p>・飲食店等への時短・休業要請、大規模集客施設への時短要請に伴い、要請期間中の全ての日において、全面的に協力していただいた事業者への「岡山県時短要請協力金」、「岡山県大規模集客施設協力金」の支給を実施しています。</p>
<p>寄付金の創設について</p>	<p>・感染症対策のための寄付金を創設すべきだ。【5月】 など(6件)</p>	<p>・感染拡大防止策や医療提供体制の整備、地域経済の維持等に活用する「おかやま助け合い寄附金」を創設しました。</p>

<p>学校等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で感染が進んでいる。学校を休校にすべきだ。 【R2.4~5月】【R3.5,8月】 など（389件） ・オンライン授業を実施すべきだ。 【R2.4~5月】【R3.8月】 など（55件） ・部活動や学校行事などを自粛すべきだ。 【R3.4-8月】 など（16件） ・学校を早期再開すべきだ。 【R2.5月】 など（16件） ・学校における感染防止対策を徹底すべきだ。 など（22件） ・9月新学期制は導入すべきではない。 【R2.5~6月】 など（20件） ・9月新学期制を導入すべきだ。 【R2.5~6月】 など（2件） ・配慮が必要な生徒もいる。マスクの着用を強要するような、行き過ぎた感染防止対策をやめるべきだ。 【R3.4-6月】 など（5件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染の拡大状況や有識者からのご意見等を踏まえ県立学校等の休校措置を講じました。 ・9月新学期制については、社会、経済、地域に様々な影響を与えることから、各界を交えた丁寧な検討を今後も進め、結論を得るよう全国知事会を通じて国へ提言しました。 ・児童生徒の1人1台端末や、校内通信ネットワークの整備などを早急に進めています。 ・熱中症に配慮した上でのマスク着用、手洗いの徹底、教室等での三密防止など、感染防止策を講じました。 ・令和4年1月27日から県内に「まん延防止等重点措置」が適用されたことを受け、授業について、感染者が確認された場合は、ただちに学級閉鎖を、感染の広がりが考えられる場合は、学年閉鎖、学校全体での臨時休業等を行い、速やかにオンライン授業に切り替えることとしました。【R4.1-3月】 ・登校について、児童生徒及び同居の家族に風邪症状がある場合は、発熱等がなくても登校させない。また、時差通学を検討することとしました。 ・学校行事等について、各校の児童生徒等の実態に応じて、延期や中止、規模を縮小しての実施の判断を行うこととしました。【R4.1-3月】 ・部活動について公式な大会等が控えている部を除き活動を行わないこと、対外試合や合宿は行わないこととしました。【R4.1-3月】
<p>情報の公表等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者へ感染させないために、感染者情報をもっと公表すべきだ。 ・個人が特定されてしまう。感染者の情報を公表しすぎなのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者情報については、感染者への風評被害や誹謗中傷を防ぐため、個人が特定されることのないよう特段の配慮を行った上で、感染症のまん延を防ぐた

	<p>など（５８件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスターが発生した施設、学校、店名を公表すべきだ。 <p>【R2.7~11月】【R3.1月】</p> <p>【R4.2月】</p> <p>など（３２件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ差別・誹謗中傷を防止すべきだ。【R2.8~11月】【R3.10】 <p>など（１８件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予測を発表すべきだ。 <p>【R3.8月】</p> <p>など（２件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者情報にはワクチン接種の有無も公表すべきだ。 <p>など（１件）</p>	<p>め、必要な範囲の情報を早期に公表しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者やその家族、医療関係者等への差別・誹謗中傷は絶対にしない「ダメ！コロナ差別」啓発キャンペーンを実施しています。テレビ、ラジオ、新聞、SNSなど様々な媒体を通じてメッセージを発信しています。
--	--	--